

留学体験記

国際文化学科 2 年

21018110 松川海斗

私は昨年(2019年)の8月26日から12月28日の約4か月間、中国の北京師範大学へ留学をしてきました。ここではそこでの生活の様子について書いていきたいと思います。

中国で生活していて一番苦労したことは体調管理です。中国での食事は自分の体に合わず、何度もお腹をこわしてしまいました。さらに日本と比べて気温の変化も激しく、対応しきれず、何度も体調不良を起こしてしまいました。また、近年中国では大気汚染の問題も深刻であり、あたり一面真っ白になってしまう日もありました。今後中国への留学を考えている人には、体調管理には十分注意してもらいたいと思います。

次に、学校での生活について書きたいと思います。北京師範大学には日本人の他にも韓国人やロシア人など様々な国から留学生が来ていました。授業は全て中国語で行われ、最初は全く聞き取れませんでした。そして、クラスの他の外国人の中国語もとてもレベルが高く、最初のうちは中国語で会話をすることもできませんでした。しかし彼らと一緒に生活して、毎日彼らの中国語を聞いているうちに自分の中国語も上達していき、中国語を使ってクラスメイトと会話出来るくらいまで上達しました。

内モンゴル旅行と安徽省への研修旅行もとてもいい経験になりました。中国の南と北のこの2つの地域に行くことで、文化の違いを実際に見て、体験することができました。そしてこの旅行中に外国人との交流も深めることが出来ました。このような旅行の機会があれば積極的に参加することを勧めます。このような地域に行けることは滅多に無く、また同じ国の中でも全く違った文化を見ることが出来ます。これらの旅行を通し、自分も中国のいろいろな地域に行ってみたいと思いました。

私がこの4か月間の短い留学生活で最も大切にしていたことは、たくさんの外国人と交流を深めることでした。私は高校生の頃、オーストラリアへ2週間滞在したことがありましたが、その時はあまり外国人の友達をつくることが出来ませんでした。その時の反省を生かし、今回の中国留学では積極的に外国人と交流をし、友達をつくることが出来ました。私は言語習得の最も近道は仲のいい外国人をつくることだと考えます。彼らと会話しているうちに自然と中国語が話せるようになっていきました。そして、彼らのおかげでこの4か月間の生活を楽しく過ごすことが出来ました。

この4か月間の留学生活の反省点を挙げるとしたら、学校行事や課外活動にあまり参加できなかったことです。中国での生活に慣れることに精一杯で、サークルなどの課外活動には参加できませんでした。今後また留学する機会があれば、より多くの学校行事や課外活動に参加し、より多くの外国人と交流を深めたいです。

今回の留学生活で中国語だけでなく、他にもたくさんのことを学ぶことが出来ました。また、新たな反省点もできました。これらのことを今後の生活で生かしていきたいと思います。